

ASEAN主要国の天然資源担当相 所管機関・部局と人物プロフィール

〔人物データ・ファイル〕

《タイ》

■天然資源・環境相

Minister of Natural Resources and Environment
スウィット・クンキッティ Suwit Khunkitti



2002年に創設された天然資源・環境省のトップをタクシン政権時代の04～05年とアピシット現政権での08年12月から現在までの2回務めている。

*1992年に成立した第1次チュアン政権からアピシット現政権までの(ソムチャイ前政権を除く)歴代政権で入閣。その間に副首相を6回務め、7つの省・府の大臣を経験。53歳と政治家としては若いにもかかわらず、これだけの閣僚経験を持つ人物は現在のタイ政界では他にいない。

〔所管〕天然資源・環境政策企画事務局、鉱物資源局、海洋・沿岸資源局、水資源局、地下水資源局、国立森林局、環境保全推進局、公害監視局、国立公園・野生動植物保護局、他

▼データ：【年齢】53歳(1957年10月17日生まれ)【生地】(東北部)コーンケン県【政党】社会行動党(SAP)/非議員【学歴】(米)ケンパー軍事学校教練課程修了。(米)ケンタッキー大学卒(理学士：化学専攻)。同大学で理学修士号(化学)取得。【経歴】1982：コーンケン県議会議員。83：下院議員に初当選(現在まで5回当選)。90：外相秘書官。92：首相府副官房長。92：(第1次チュアン政権)法相。95：(バンハーン政権)副農業・協同組合相。96：農業・協同組合相。96：(チャワリット政権)法相。97：(第二次チュアン政権)副首相。98：科学・技術・環境相兼任(99)。2001：下院議員に再選(タイ愛国党〔TRT〕比例代表第7位)、〔2月〕(第1次タクシン政権)副首相、〔10月〕教育相。02：〔10月〕副首相。04：〔3月〕天然資源環境相。05：〔2月総選挙〕立候補せず。05：〔3月〕(第二次タクシン政権)情報通信技術相(8月)。07：〔12月総選挙〕落選(国家貢献党〔PPD〕)。08：〔2月〕(サマック政権)副首相兼工業相、〔7月〕閣僚辞任(政権離脱)、〔12月22日〕(アピシット政権)現職。

【歴任】タイ法曹協会名誉会長。タイ法律家協会総裁。【党歴】SAP幹事長。1999：SAP党首。2000：タイ愛国党(TRT)に移籍(副党首)。07：〔10月〕プアペーンディン(国家貢献)党(PPD)創設メンバー・党首。08：〔12月〕SAPに“復党”。【家族】ラワン(Lawan)夫人との間に3女。〔既出データ〕(09/01/15)(07/12/15)(05/04/15)(01/11/01)(99/07/01)(98/11/01)

【横顔】諸政党・政治勢力の盛衰など政局の行方を“的確”に読み取ることに敏であり、“変わり身”の速さで常に政権入りを達成してきた。タクシン派主導のサマック政権(当時)から早々と(08年7月の時点で)離脱しており、反タクシン派のアピシット現政権での入閣は、(同氏の)閣僚としての能力・経験だけでなく、「論功行賞」的な意味合いもある。

*PPD党首辞任後に(故ククリット・プラモート元首相が創設した伝統を持つ)“古巣”の社会行動党(SAP)に復党した。

《マレーシア》

■天然資源・環境相

Minister for Natural Resources and Environment

ダグラス・ウガ・ウンバス Datuk Seri Douglas Uggah Embas



14政党で構成される与党連合・国民戦線(BN)のサラワク州における中核で、マレー系およびイバン族主体の政党である「サラワク統一ブミプトラ・プサカ(伝統)党(PBB)」の総裁補。

*1986年に下院議員に初当選し、マハティール政権下の1990年に首相府政務官として初めて連邦政府入りしたベテラン政治家。アブドゥラ前政権下では副運輸相を5年間務めた。

〔所管〕鉱物・地学局、水資源・下水・水理学局、環境保全・気候変動対策局、バイオセーフティ(生物災害管理)局、生物多様性・森林管理局、国土地理局、他

▼データ：【年齢】55歳(1955年生まれ)【政党】統一ブミプトラ・プサカ(伝統)党(PBB)：第二総裁補【学歴】マラヤ大学経済学部卒【経歴】1986：下院議員に初当選(以後、連続当選)。90：(マハティール政権)首相府政務官。地方開発省政務官。99：副・首相府相。2003：(アブドゥラ政権)運輸相(08)。08：〔3月総選挙〕下院議員に再選(6期目-サラワク州ベトン選挙区)。08：〔3月〕(アブドゥラ改造内閣)天然資源環境相(現職)。09：〔4月〕(ナジブ政権発足)再任。〔既出データ〕(09/05/01)(08/04/01)(03/07/15)

《シンガポール》

■環境・水資源相兼イスラム教徒問題相

Minister for the Environment and Water Resources & Minister-in-charge of Muslim Affairs

ヤーコブ・イブラヒム(博士) Dr Yaacob Ibrahim



シンガポールの国家存亡と経済発展における「アキレス腱」ともいわれる水資源の確保とその自給体制の確立のための雨水利用や海水淡水化、および下廃水再利用(「NEWater」)の研究・開発に最大の努力を傾注している。

*シンガポールの(リー・シェンロン)現内閣で唯一のマレー人閣僚(正大臣)。2002年以来、イスラム教徒問題相(兼任)も務めており、内閣において(同国の少数派民族)マレー人の立場を代表している。

〔所管〕国家環境庁、公益事業庁(「水資源庁」)、環境政策局、水資源政策局、国際政策局、3Pネットワーク(住民・官民連携)局、他

▼データ：【年齢】55歳(1955年10月3日生まれ)【生地】シンガポール【人種】マレー人【政党】人民行動党(PAP)：中央執行委員会副委員長【学歴】1980：シンガポール大学卒(土木工学：優等)。84：同大学で工学修士号(構造工学)取得。89：(米)スタ

ンフォード大学で博士号(土木工学)取得。(米)コーネル大学フェロー。【経歴】1991：シンガポール大学工業・システム工学部上級講師。同大学准教授。97：国会議員に初当選。98：政務官(運輸通信)。99：[6月]政務官(運輸通信・情報技術)。2001：[11月]国務相(社会開発・スポーツ)。02：[3月](ゴ・チョクトン内閣)社会開発・スポーツ相代行(兼イスラム教徒問題相)。03：[5月]社会開発・スポーツ相(兼イスラム教徒問題相)。04：[8月](リー・シェンロン内閣)現職(環境・水資源相兼イスラム教徒問題相)。06：[5月総選挙]国会議員に再選(3期目-ジャラン・ブサル集団選挙区)、[3月](第2次リー内閣)再任。【歴任】シンガポール・イスラム宣教協会(Jamiyah)青年部メンバー。マレー語テレビ番組諮問委員会委員長。シンガポール・イスラム宗教会議(MUIS)理事。シンガポール・イスラム社会開発協議会(Mendaki)議長。2005： Deng熱対策省庁間委員会委員長(一現在)。【趣味】家族と過ごす、スウィミング、読書、ジョギング、音楽。【家族】マリア・セダ(Maria Seda)夫人との間に1男。【既出データ】(08/04/15)(06/06/15)(04/09/01)(03/05/15)(01/12/15)

《インドネシア》

■エネルギー・鉱物資源相

Minister of Energy and Mineral Resources

ダルウィン・サレ(博士) Dr Darwin Zahedy Saleh



エネルギー・鉱業分野の専門家ではなく、現職就任前は関連官庁・業界ではほとんど無名の存在だった。ユドヨノ大統領が諮問委員会委員長を務める中核与党・民主党(PD)の幹部であり、特に忠実なユドヨノ信奉者として知られる(大統領はこの重要ポストをテクノクラートや業界人よりは自らが信頼できる政治的“同志”に任せたとのことだろう)。探鉱・生産分野や貯蔵・供給インフラに対する民間投資の増大を図る方針を示すとともに、エネルギー・鉱物資源省内の行政・機構改革を政策の柱に掲げている。

*インドネシアでは政治家兼実業家という閣僚は多いが、(同氏の場合は)さらに学者でもあり、地元メディアでは一種の“奇才”と論評されている。

【所管】石油・ガス総局、電気・エネルギー利用総局、鉱物・石炭・地熱総局、資源探査センター、エネルギー・鉱物資源研究開発センター、他

▼データ：【年齢】50歳(1960年10月29日生まれ)【生地】リアウ州サバット【政党】民主党(PD)：経済財政委員長【人種】リアウ人【宗教】イスラム教【学歴】インドネシア大学(UI)経済学部卒。(米)ミドルテネシー州立大学で経営学修士号(MBA)取得。UIで経済学博士号取得。【経歴】UI経済学部講師(学部長室付き専門スタッフ)。財政・金融・経営コンサルタント。09：[10月22日](第2期ユドヨノ政権)現職。【党職】2004：PDに入党。副議長・経済財政委員長。【家族】デスティアナ(Destiana Gianawati)夫人との間に2男1女。【既出データ】(09/11/15)

【横顔】リアウ州生まれだが、10歳の時に両親とともにジャカルタに移り、その後は中央ジャカルタのクマヨラン地区に在住してきた。

《フィリピン》

■環境・天然資源相

Secretary of Environment and Natural Resources

ラモン・パヘ(博士) Dr Ramon J.P. Paje



第19代環境・天然資源相。第1種キャリア官僚(CESO I)として環境・天然資源省(DENR)に入省後、一貫して同省に勤務し、その要職を歴任してきたテクノクラート。アキノ現政権発足時に政治職である同省のトップに抜擢された(創設後23年目になるDENRの歴史で生え抜きの官僚が大

臣に就任したのは2人目である)。
【所管】外国支援・特別プロジェクト事務局、環境管理局、森林管理局、鉱山・地学局、保護地域・野生生物局、生態系(エコシステム)研究開発局、国家地図作成・資源情報庁、ラグナ湖開発庁、国家資源開発公社、他

▼データ：【年齢】50歳(1960年生まれ)【学歴】1977：フィリピン大学(UP：ロスバニョス)卒(理学士：林学)。UP(ディリマン)で文学修士号(都市・地域開発学)、行政学博士号取得。(米)ハーバード大学で環境経済学・政策分析課程修了。【経歴】1982：環境・天然資源省(DENR)入省、森林開発局林務官を皮切りに同省の要職を歴任。同省人材開発部長。次官補(管理業務)。次官(環境・プログラム開発)。次官(政策・技術業務)。次官(現場作業管理)兼官房長(chief of staff)。2010：[6月30日](アキノ政権発足)現職(就任宣誓式)。【歴任】大統領鉱業問題補佐官/鉱物開発委員会(MDC)事務局長。国家先住民問題委員会(NCIP)事務局長。【家族】ホセリサ(Joseliza Satntos)夫人との間に2子。【既出データ】(10/08/01)

【横顔】青年期から将来を嘱望されてきた逸材であり、フィリピン青年会議所から1996年度の「10人の傑出した青年(TOMY)」賞(公務部門)を受賞したほか、政府機関・民間団体から国家・社会のために有益な功績を挙げたとして多くの賞を授与されている。

《ベトナム》

■天然資源・環境相

Minister of Natural Resources and Environment

ファム・コイ・グエン(博士) Dr Pham Khoi Nguyen



【所管】地質・鉱物局、環境保護庁、測量・地図作成局、ベトナム遠隔探査(リモートセンシング)センター、他

▼データ：【年齢】60歳(1950年7月7日生まれ)【生地】(北部)ハタイ省【学歴】鉱業技師。地質学修士号。経済学博士。グエン・アイ・クオック党高級学校で研修(高等政治理論)。【経歴】2002：(第11期国会)天然資源・環境省(MoNRE)第一次官。06：[4月](第10回ベトナム共産党(CPV)大会)党中央委員(任期：-2011)。07：[8月](グエン・タン・ズン改造内閣)現職。【兼任】メコン河委員会(ベトナム)委員長。

(アジア・リンケージ 勝田 悟)

<http://homepage2.nifty.com/asia-linkage/>